

町民と対話する機会の創出についての考えは



(動画時間)
44分



さくらぎ まこと
桜木 誠 議員

町長：町民との対話は必要不可欠、より話しやすい場や機会を設けていきたい

その他の質問事項

▶令和6年度町政執行方針の
福祉・医療・住民サービスの向上について

質問

町長の公約には、町民・多様な主体による会議の創設など、町民との対話の創出があります。

気軽に意見が言える町長・行政になることで住民サービスの向上につながると思いますが、これまで行っていた「町民懇談会」を含め、公約の実現に向けてどのようなものを考えていますか。

町長

これまで各種総会などに出席した際、要望などがあつたときには直接対話に心がけてきました。町民との対話は、必要不可欠であると考えています。意見が出やすい雰囲気づくりに考慮しながらテーマを絞るものやあまり絞らないものなど、工夫しながら対話の機会を設け、政策に反映させていきたいと考えています。

質問

町政執行方針の中では、福祉・医療のサービスの向上などの課題を解決するためには、相互の連携が必要と示されていますが、どのような連携・体制を考えていますか。

町長

持続可能な医療・介護・福祉の提供体制を維持するため、関係者が一堂に会した各福祉施設間の連携を強化するよう進めます。

子育て支援全般に関する話し合いの場の創設は



(動画時間)
14分



おくざき ゆうこ
奥崎 裕子 議員

町長：ともに知恵を出し合うような話し合いの場を設けることが今後のまちづくりに必要

質問

昨年6月定例会議の一般質問の答弁の中で「子育て支援全般に関する話し合いの場の創設を考えている」と町長は発言していました。具体的な進展はありましたか。

町長

話し合いの場については、昨年12月に企画したものの延期となり、2月に改めて開催しましたが、参加者はごく少数でした。

再質問

話し合いの場は、「パパママトーク」として行われたというのですが、どのような内容が話し合われたのですか。

保健福祉課長

幅広く意見・要望を聞かせていただきました。

再質問

様々な立場の人の声をすり合わせ、互いのベストな着地点を見つけるためにも、多くの声を集めることが必要だと考えますが、今後どのように開催していきますか。子育てグループの集まりなどに「来てほしい」という声があれば、町長などに参加してもらえますか。

町長

私や担当と話せる機会を設けていきたいと思っています。今後は工夫しながら、いただいた意見をよい形で地域に反映できる話し合いの場にしていきたいと思っています。